

西東京市 図書館だより

平成28年(2016年) 4月1日

第61号

中央図書館

西東京市南町5-6-11
042-465-0823

保谷駅前図書館

西東京市東町3-14-30
042-421-3060

芝久保図書館

西東京市芝久保町5-4-48
042-465-9825

谷戸図書館

西東京市谷戸町1-17-2
042-421-4545

柳沢図書館

西東京市柳沢1-15-1
042-464-8240

ひばりが丘図書館

西東京市ひばりが丘1-2-1
042-424-0264

編集・発行:西東京市図書館

ホームページアドレス <http://www.library.city.nishitokyo.lg.jp>



朝と夜のシマフクロウ
碧山小学校6年

平成二十八年 西東京市図書館の 主な事業について

平成二十八年年度に図書館が行う主な事業についてお知らせします。

平成二十六年年度から西東京市に関する資料の劣化対策と、収蔵している資料を検索、閲覧しやすいようにするため、地域・行政資料の電子化を進めています。すでに電子化した写真資料の一部を図書館ホームページに掲載したところ、多くの閲覧があり、また、市内外から写真資料を利用したいという依頼が寄せられるなど、資料の新しい活用の広がりが出てきています。本年度は、市史編纂資料と古地図関連資料について電子化を進め、さらに、新たな活用を図っていけるものと考えています。

子どもの読書離れ、活字離れが言われていますが、子どもが生きる力を身に付け、地域の一員として参画していくためには、読書活動が果たす役割が大きいと考えます。西東京市では、平成十八年度から、子ども読書活動推進計画を策定し、積極的に取り組んできました。学校での朝読書の取組や合同書評会の実施、児童館や学童クラブの図書館からの団体貸出利用の増加などがあります。こうした実績を踏まえ、第3期西東京市子ども読書活動推進計画では、未実施だった私立保育園、認証保育所、幼稚園等への支援を広げるとともに、市民団体やボランティアの方との協働をさらに進め、子どもの発達段階に応じた施策に取り組んでまいります。



★声の広報をお届けしています。

お問い合わせの方ご希望の方がいらっしゃいましたら
谷戸図書館(☎421-4545)へお問い合わせを

図書館だより版

にんにん西東京

第12回「西東京市の地名①」

旧田無地域から



地域・行政資料室では、地名の由来について、お問合せをいただきま

す。複数の説があることや、解明出来ていない場合もあります。

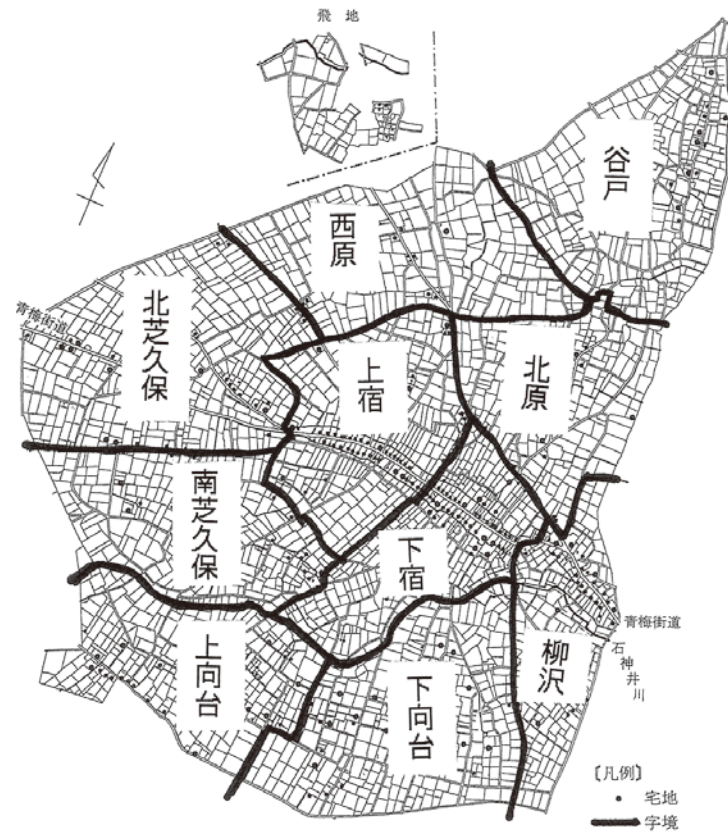
住居表示変更

町名が現在のようになったのは、昭和37年(1962)5月10日「住居表示に関する法律」が公布施行され

消えた字名

昭和42年、市制施行となるこの年までは十の旧字名でよばれていま

た。(田無の字図参照) 明治8年の『地租改正絵図』に記載された名称と同じ、上宿、下宿、北原、柳沢、上向台、下向台、南芝久保、北芝久保、西原、谷戸です。



田無の字図 明治8年の字境 「地租改正絵図」(明治8年)をもとに作成

しかし、統合整理され消滅してしま

い、ここには無い四十四の小字地名が、明治6年の『田畑其他直段書上帳』には詳細に記録されています。

認識され、地形、植物、集落や街道に因むものに大別されます。地形によるものは、谷戸(谷津と同じ語源の古い言葉で谷や沢の中の湿った土地)を表す、谷戸の前・谷戸の後・元宮腰などで、「元宮」は尉殿権現、「腰」は谷戸の側から見た台地の張り出しと思われ

て石神井川をはさんだ向い側を意味します。植物に因むものは、松ノ木下・大桑ノ木・柳澤など樹木をランドマークとして地名になったと思われ



第11回「西東京市ゆかりの人」田無村名主・下田半兵衛」で記述の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

「第3期西東京市子ども読書活動推進計画」ができました。

西東京市では、平成十八年度から子ども読書活動推進計画を策定し、いつでもどこでも、だれでも、子どもたちが自主的に読書活動を行うことができるように読書環境の整備に取り組んできました。

第3期の計画では、子どもの発達段階に応じた読書活動の推進を図る内容の各種事業を実施してまいります。また、子どもの読書に関わる諸機関や市民団体またはボランティア等の連携を進め、子どもの読書について大人への啓発と支援を行います。

図書館の主な取組

◇乳幼児を対象とした取組◇

・図書館の乳幼児と保護者が一緒に過ごすコーナーに、季節のテーマに沿った展示を行うなど居心地のよい空間を作り、図書館のおすす

め本を手にして選びやすく借りやすい工夫をします。・私立保育園、認証保育所、幼稚園なども連携を進めていきます。また、乳幼児と保護者が集まる場所の調査とその保護者のニーズを分析・検討し、いつでもどこでも本を手にすることができ環境作りを進めます。・絵本選びに悩む保護者のために、



おはなし会

◇小学生を対象とした取組◇

・おすすめ本のポップなどを作成し、子どもたちが図書に興味を持ち、手に取りたいくなるようなコーナー作りを心がけていきます。・図書館で発行している「夏休みすいせん図書」に掲載した本を、各小学校や児童館、学童クラブにま



「CATCH」共同編集

とめて貸出し、読書活動を支援します。・毎年行っている「一日図書館員」の事業に加え、図書館の活用方法を伝える企画など、図書館利用のきっかけ作りになるような新しい事業を実施します。

◇中高生、YA世代(13歳〜18歳)を対象とした取組◇

・YAコーナーの充実を図ります。中央図書館のYAコーナーで高校生世代に向けた資料の充実に取り組みます。・図書館で発行している「夏休みすいせん図書」に掲載された本を各中学校や児童館にまとめて貸出し、読書活動を支援します。・中高生の職場体験を受け入れ、図書館に対する理解と関心を深めることにより、図書館利用の促進を図ります。



「第3期西東京市子ども読書活動推進計画」は、各図書館で貸出用図書館蔵書があります。図書館ホームページからもお読みいただけます。



いつも柳沢図書館の皆様には、とてもお世話になっております。

さて、私は次男の通う小学校で読み聞かせサークルに入っています。サークルは、子供達に絵本の読み聞かせをしたり、学級に置く25冊の文庫を紹介するボランティアです。文庫は、本を読むことがあまり好きでない子供達にも読んでもらえるようにちよつと長めの本、楽しい絵本、科学絵本を組み合わせています。

文庫の本は西東京市内の図書館からお借りしています。借りる前に、館内の検索機や自宅のパソコンで、在庫の有無、予約すべき本か調べます。だいたいの本は見つかるとはありますが、どうしても見つからない本が出てきます。そうすると、たちまち焦ってきます。小学生の子供が帰ってくる時間が迫っていたり、次に図書館に来れる日はいつだろうと思いつながら本を探しているのです、なおさらです。そんな時、図書館の方達に助け

利用者エッセイ

わたしと図書館
高木 祐美

て頂きます。するとあんなに見つからなかった本が、ぱつと目の前に現れるから不思議です。さすが、プロです！
話は変わり、中学生の長男が昨年秋、職業体験をしました。体験場所として選んだのが、柳沢図書館でした。とても嬉しかったです。職業体験から帰ると、どんな仕事をしたのか、職員の方々とどんなお話をしたのかなど聞きました。更に、柳沢図書館のひみつも教えてもらいました。

「図書館の奥には、職員しか入れない畳の部屋があるんだよ！」
そう言った息子のうれしそうな顔！最後に、息子にも親切にしてくださった柳沢図書館の皆さん、本当にありがとうございました！



東日本大震災関連講演記録集
発行によせて

西東京市図書館では、平成二十四年度から二十七年度にかけて、東日本大震災に関する講演会や講座を行ってまいりました。その取組みをまとめ、『東日本大震災とわたしたちの記憶すること、記録すること』と題して記録集を発行いたしました。お近くの図書館でご覧ください。



「西東京市に住んで
いらしたんですねっ！」

公立図書館には、その地域に暮す人々を支える情報提供機関としての役割があり、そのための資料を地域資料として収集しています。歴史資料や行

政資料が中心と思われるかもしれませんが、実は、地域に関わりのある人物の著作やその人についてふれている資料も情報と共に集めています。

このたび発行した冊子『縁ゆかり』では、西東京市に在住あるいは住んでいたことがあり、かつ地域資料としての著作がある人物の中から、50名を取り上げて紹介しています。そのうち9名の方は、実際にお話を伺って記事を掲載することができました。今回紹介できなかった方も大勢いらっしゃいますので、図書館ホームページの「地域・行政資料サービス案内」に新設した「西東京市ゆかりの人物」コーナーで随時お伝えしていく予定です。

冊子『縁ゆかり』は図書館蔵書のほかホームページからデジタルデータでもお読みいただけます。

図書館から発信した情報が、地域への愛着や地域活性化へと広がるよう、また一人一人の課題解決につながるよう、これからも市民の宝物として地域資料を整えます。情報や資料、著作などをお寄せくださった皆様に心より感謝申し上げます。

編集後記

必要な図書館資料を保存すること、読書に親しむ子どもの成長を応援すること、いずれも、未来につながるべく図書館の仕事です。今年度もあらためて、このことに取り組んでいきます。